



総務省



### 自治体データが暮らしを変える 一埋もれさせずに、官民で活用を ～「データアカデミーin滋賀」を開催～



近畿総合通信局は、滋賀県、近畿情報通信協議会及び近畿管内の情報通信関係団体との共催により、平成30年1月16日に滋賀県草津市内で、産学官連携によるオープンデータの利活用やIoT実装に向けた課題や方策について理解を深めていただくことを目的とした、地域IoT実装推進セミナー「データアカデミーin滋賀」を開催し、地方自治体の関係者など112名が参加しました。



挨拶する安藤局長

セミナーでは冒頭、主催者を代表して、近畿総合通信局の安藤英作局長が、IoTの本格的な実装の時代を迎え、これまで総務省が行ってきた実証の成果を全国に横展開していく取組が求められていると挨拶しました。

小林史明総務大臣政務官による特別講演では、「テクノロジーの社会実装」と題して、AIによる自動化、IoTの発展と「第4次産業革命」、世界に先駆けた5Gの実現、オープンデータや行政の電子化など様々な事例を紹介した上で、データを活用した課題解決の重要性と、活用に向けた参加者への期待を述べられました。

次に、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室の柴崎哲也内閣参事官から「官民データ活用の全国展開に向けて」と題して、地方自治体における官民データ活用推進計画の取組状況、近畿地方や開催地である滋賀県の現状について紹介が、続いて、総務省情報流通行政局の松田昇剛地方情報化推進室長から「自治体データの活用推進」と題して、自治体によるデータの活用事例を紹介し、活用のための総務省の支援策について説明がありました。

その後、自治体データの活用に取り組む3名の専門家から具体的な事例が紹介されました。

セミナーの最後には、小林政務官をはじめとした講師と参加者が、自治体のIoT実装に向けた課題などについて意見交換を行いました。

近畿総合通信局では、今後も地域でのIoT活用に結びつく地方自治体への支援など、様々な取組を行ってまいります。



意見交換会での小林政務官



### 防災フォーラムで臨時災害FM局の必要性をアピール

近畿総合通信局は、平成30年2月10日、和歌山県海南市で行われた「防災フォーラムin海南」において、災害時の情報伝達手段として有用な臨時災害FM局の開設運営訓練に参加しました。

当日は、海南市役所内の仮設スタジオから、海南市とその周辺に向けて実験放送が行われ、電波到達範囲などの聴取調査が行われました。

← 臨時災害FM局の開設運営訓練の様子



総務省

### 地域発の事業創出に向けて中小・ベンチャー企業をサポート



総務省  
近畿総合通信局



池田泉州銀行

総合通信局と  
金融機関の連携協定  
は全国初

### —ICTを通じた地域創生のための包括連携協定を締結—

近畿総合通信局（局長：安藤英作）と株式会社池田泉州銀行（頭取：藤田博久）は、ICTを通じた地域創生を目的に、中小・ベンチャー企業に向けた支援施策を連携して実施するため、平成30年1月31日に、包括連携協定を締結しました。

近畿総合通信局は、総務省の地方支分部局として情報通信行政を所管し、ICT分野の新たなビジネス創出による経済成長の実現に向け、研究開発を支援する「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」や、新技術を用いた事業化への挑戦を支援する「ICTイノベーション創出チャレンジプログラム（I-Challenge!）」など、ICT分野に関わる事業創出の支援施策を展開しています。

池田泉州銀行は、かねてより、新規性・独創性のあるビジネスプランを有する企業・起業家の発掘・育成を目指す「ニュービジネス助成金」や、産学官連携による地元企業の研究開発を応援する「コンソーシアム研究開発助成金」を通じて、地域発の新事業創出を図るとともに、大学・公的機関との独自ネットワークの構築・連携により、新しいビジネスへ向けた多面的なサポートに取り組んでいます。

両者は、これまでも講演会・セミナーへの相互協力・情報発信などで連携してきましたが、このたびの協定により、中小・ベンチャー企業に向けたICT分野に関わる事業支援施策について、相互連携によるシナジーを追及することで、情報通信産業の発展と地域経済の活性化に貢献してまいります。



締結式で（左）藤田頭取（右）安藤局長

## 「インターネットの安心・安全に関する動画フェスタin近畿2017」 優秀作品発表会を開催

「インターネットの安心・安全に関する動画フェスタin近畿」実行委員会（事務局：近畿総合通信局情報通信部電気通信事業課）では、主に小中学生を対象にした、ネットやスマホの安心・安全な利用を啓発するための動画を、平成29年7月から9月にかけて募集しました。そして、応募総数146作品の中から、最優秀賞2、優秀賞2、審査員特別賞6及び奨励賞5作品を選び、平成29年12月17日に、大阪市内で優秀作品発表会を開催しました。



発表会の模様

- （生徒部門）  
最優秀賞 「スマホとリアル」 大阪市立九条南小学校6年 九条南セブン
- （学生・社会人部門）  
最優秀賞 「歩きスマホに気をつけてね」 和歌山コンピュータビジネス専門学校 CGコース1年

すべての入賞作品はこちら→ <http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/sumaho-kinki/index.html>

2018年の募集は平成30年7月9日から開始します。

概要はこちら→ [http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/01sotsu07\\_01001101.html](http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/01sotsu07_01001101.html)